

# 景気動向調査結果

(令和元年7月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和元年 7 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和元年 8 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、435 社（製造業 232 社（うち面接 61 社）、非製造業 203 社）で、回答率は 62.1 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

# 令和元年7月の景気動向

## 1 総論

長野県経済は、海外経済の減速などの影響により、このところ回復の動きに足踏みがみられます。

製造業の業況は、電機・電子、一般機械などで米中貿易摩擦による中国経済の減速などの影響を受けて受注、生産が減少したことから、4期連続のマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、建設業、情報サービス業では改善したものの、小売業、飲食業、宿泊業などでは天候不順による影響などを受けて悪化したことから、全体では5期ぶりの悪化となりました。

## 2 製造業

### (1) 業界の業況

前年同期（平成30年7月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 54.5$ となり、前回調査時（平成31年4月）の $\Delta 45.4$ より9.1ポイント悪化し、4期連続のマイナス水準となりました。

3か月前（平成31年4月）と比較したD Iは $\Delta 33.0$ となり、前回調査時の $\Delta 27.0$ より6.0ポイント悪化し、4期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（令和元年10月）の予想では、D Iは $\Delta 19.6$ となり、5期連続のマイナス水準となりました。

#### 〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、テレワーク向けなどの需要の増加により、持ち直しています。プリンターは、新興国の一部で需要の減少がみられるものの、受注、生産は堅調に推移しています。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、自動車関連向けで受注、生産が堅調に推移しているものの、スマートフォン向けや産業用途向けでは、米中貿易摩擦による中国経済の減速などの影響から、受注、生産が弱含んでいます。

イ 一般機械では、工作機械は、自動車関連向けや半導体関連向けは、米中貿易摩擦による中国経済の減速などの影響から、受注、生産が弱含んでいます。建設機械は、国内向けは受注、生産の一部に弱さがみられるものの、北米や欧州向けの海外向けで、受注、生産が順調に推移しています。

ウ 精密では、時計は国内需要の低迷により、受注、生産が横ばいに推移しています。レンズは、自動車関連向けで堅調に推移しているほか、プロジェクター向けでは、一部に弱さがみられるものの、高付加価値製品で回復がみられます。計器は、圧力計は自動車向けや産業機械向けで、米中貿易摩擦による中国経済の減速などの影響から、受注、生産が弱含んでいます。LPガスメーターは、取替需要等により受注、生産が増加しています。

エ 自動車部品では、国内向けは軽自動車を中心に受注、生産が堅調に推移しているほか、海外向けは、アジア向けの一部で弱さがみられるものの、北米向けなどで受注、生産が順調に推移しています。

オ 食料品では、味そは季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。酒類は、清酒は低調に推移しているものの、ワインは国内消費の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。飲料は季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。

## (2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が17.0%と前回(17.0%)と同じとなり、「減少」とする企業が53.0%と前回(48.9%)より増加した結果、D Iは前回( $\Delta 31.9$ )より悪化し、 $\Delta 36.0$ となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が13.5%と前回(17.4%)より減少し、「減少」とする企業が34.9%と前回(33.2%)より増加した結果、D Iは前回( $\Delta 15.8$ )より悪化し、 $\Delta 21.4$ となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が11.5%、「減少」とする企業が24.7%となった結果、D Iは $\Delta 13.2$ となりました。

## (3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が18.9%と前回(19.1%)とほぼ同じとなり、「減少」とする企業が55.1%と前回(51.7%)より増加した結果、D Iは前回( $\Delta 32.6$ )より悪化し、 $\Delta 36.2$ となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が19.8%と前回(16.7%)より増加し、「減少」とする企業が38.3%と前回(39.3%)よりやや減少した結果、D Iは前回( $\Delta 22.6$ )より改善し、 $\Delta 18.5$ となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が16.4%、「減少」とする企業が24.9%となった結果、D Iは $\Delta 8.5$ となりました。

## (4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が9.5%と前回(9.4%)とほぼ同じとなり、「安い」とする企業が20.8%と前回(17.0%)より増加した結果、D Iは前回( $\Delta 7.6$ )より悪化し、 $\Delta 11.3$ となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が4.8%と前回(6.0%)より減少し、「安い」とする企業が12.2%と前回(8.5%)より増加した結果、D Iは前回( $\Delta 2.5$ )より悪化し、 $\Delta 7.4$ となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が2.2%、「安い」とする企業が10.9%となった結果、D Iは $\Delta 8.7$ となりました。

## (5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が7.2%と前回(9.1%)より減少し、「苦しい」とする企業が22.1%と前回(18.3%)より増加した結果、D Iは前回( $\Delta 9.2$ )より悪化し、 $\Delta 14.9$ となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が7.7%と前回(8.7%)よりやや減少し、「苦しい」とする企業が15.4%と前回(10.5%)より増加した結果、D Iは前回( $\Delta 1.8$ )より悪化し、 $\Delta 7.7$ となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が7.7%、「苦しい」とする企業が14.5%となった結果、D Iは $\Delta 6.8$ となりました。

## (6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が7.4%と前回(13.9%)より減少し、「低下」とする企業が54.1%と前回(44.7%)より増加した結果、D Iは前回( $\Delta 30.8$ )より悪化し、 $\Delta 46.7$ となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が5.7%と前回(11.9%)より減少し、「低下」とする企業が33.8%と前回(26.3%)より増加した結果、D Iは前回( $\Delta 14.4$ )より悪化し、 $\Delta 28.1$ となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が5.7%、「低下」とする企業が25.1%となった結果、D Iは $\Delta 19.4$ となりました。

## (7) 製造業の業種別動向

### 電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、テレワーク向けなどの需要の増加により、持ち直しています。

プリンターは、新興国の一部で需要の減少がみられるものの、受注、生産は堅調に推移しています。

(半導体関連・プリント基板) 自動車関連向けは、海外需要にけん引され順調に推移しているものの、スマートフォン向けや産業用途では、米中貿易摩擦による中国経済の減速などの影響から、受注、生産が弱含んでいます。

(抵抗器・コンデンサ等) 自動車関連向けや家電向けの一部は、受注、生産が堅調に推移しているものの、産業用途では、米中貿易摩擦による中国経済の減速などの影響から、受注、生産が弱含んでいます。

(モーター等) 家電向けの一部は、受注、生産が堅調に推移しているものの、産業用途では、米中貿易摩擦による中国経済の減速などの影響から、受注、生産が弱含んでいます。自動車関連向けは、EV車などの需要は堅調であるものの、米中貿易摩擦による中国経済の減速などの影響から、総じて受注、生産が弱含んでいます。

(その他) カーナビゲーションは、国内外の需要にけん引され、受注、生産が堅調に推移しています。電源関連は、国内需要の減少により、低調に推移しています。

### 一般機械

(工作機械) 自動車関連向けや半導体関連向けでは、米中貿易摩擦による中国経済の減速などの影響から、受注、生産が弱含んでいます。

(金型) 自動車関連向けで、受注、生産が持ち直しています。

(建設機械) 国内向けは、受注、生産の一部に弱さがみられるものの、北米や欧州の海外向けでは、受注、生産が順調に推移しています。

(農業用機械等) 国内向けで、季節的要因により、受注、生産が減少したものの、北米や欧州の海外向けで、受注、生産が堅調に推移しています。

精 密 (時 計)	腕時計は、国内需要の低迷により、受注、生産が横ばいに推移しています。
(レ ン ズ)	自動車関連向けで受注、生産が堅調に推移しているほか、プロジェクター向けでは、一部に弱さがみられるものの、高付加価値製品で回復がみられます。
(計 器)	圧力計は、自動車向けや産業機械向けで、米中貿易摩擦による中国経済の減速などの影響から、受注、生産が弱含んでいます。LPガスメーターは、取替需要等により受注、生産が増加しています。
自 動 車 部 品	国内向けは、軽自動車を中心に受注、生産が堅調に推移しています。海外向けは、アジア向けの一部で弱さがみられるものの、北米向けなどで受注、生産が順調に推移しています。
食 料 品	
(味 そ)	季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。
(酒 類)	清酒は低調に推移しているものの、ワインは国内消費の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。
(飲 料)	季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。
織 維 ・ 衣 服	ワイシャツは、季節的要因により、受注、生産が減少しています。
紙 ・ パ ル プ	ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が増加しています。
印 刷	印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで、受注、生産が底堅く推移しています。

### 3 非製造業

#### 業界の業況

前年同期（平成30年7月）と比較したD Iは $\Delta 32.9$ となり、前回調査時（平成31年4月）の $\Delta 9.8$ より23.1ポイント悪化し、5期ぶりの悪化となりました。

3か月前（平成31年4月）と比較したD Iは $\Delta 19.4$ となり、前回調査時の1.0より20.4ポイント悪化しました。

また、3か月後（令和元年10月）の予想では、D Iが $\Delta 31.3$ となりました。

#### 〔各業種の動き〕

##### ア 建設業

建設業では、受注件数の増加や販売価格の上昇などから、客数D I、販売価格D I等が改善したため、業況D Iは $\Delta 3.2$ と前回（ $\Delta 16.7$ ）より改善しました。

3か月後は、売上高D I、収益率D I等の上昇が見込まれることから、業況D Iは上昇が予想されます。

##### イ 情報サービス業

情報サービス業では、法人向け需要の増加などから、客数D Iが改善したため、業況D Iは25.0と前回（22.2）より改善しました。

3か月後は、売上高D I、収益率D I等の低下が見込まれることから、業況D Iは大幅な低下が予想されます。

##### ウ 小売業

小売業では、天候不順の影響による夏物商材の不振などから、売上高D I、客数D I等が悪化したため、業況D Iは $\Delta 42.7$ と前回（ $\Delta 16.4$ ）より大幅に悪化しました。

3か月後は、客数D I、収益率D I等の低下が見込まれることから、業況D Iは大幅な低下が予想されます。

##### エ 卸売業

卸売業では、製造業向け需要の減少などから、客数D I、収益率D I等が悪化したため、業況D Iは $\Delta 9.5$ と前回（ $\Delta 8.7$ ）よりやや悪化しました。

3か月後は、売上高D I、収益率D I等の低下が見込まれることから、業況D Iは大幅な低下が予想されます。

##### オ 飲食業

飲食業では、天候不順の影響による観光客の減少などから、売上高D I、収益率D I等が悪化したため、業況D Iは $\Delta 52.0$ と前回（8.7）より大幅に悪化しました。

3か月後は、収益率D Iの低下が見込まれることから、業況D Iは低下が予想されます。

##### カ 宿泊業

宿泊業では、天候不順の影響による観光客の減少や10連休の反動減などから、売上高D I、客数D I等が悪化したため、業況D Iは $\Delta 61.5$ と前回（0.0）より大幅に悪化しました。

3か月後は、売上高D I、客数D I等の低下が見込まれることから、業況D Iは低下が予想されます。

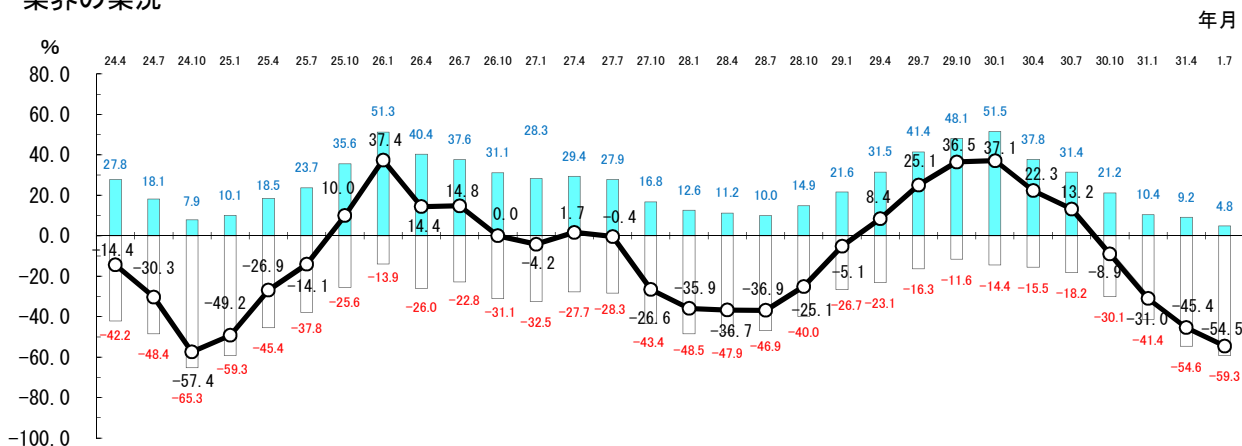
# 景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下)の企業の割合です。  
折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇)の企業の割合から悪化(減少、低下)の企業の割合を引いた差です。

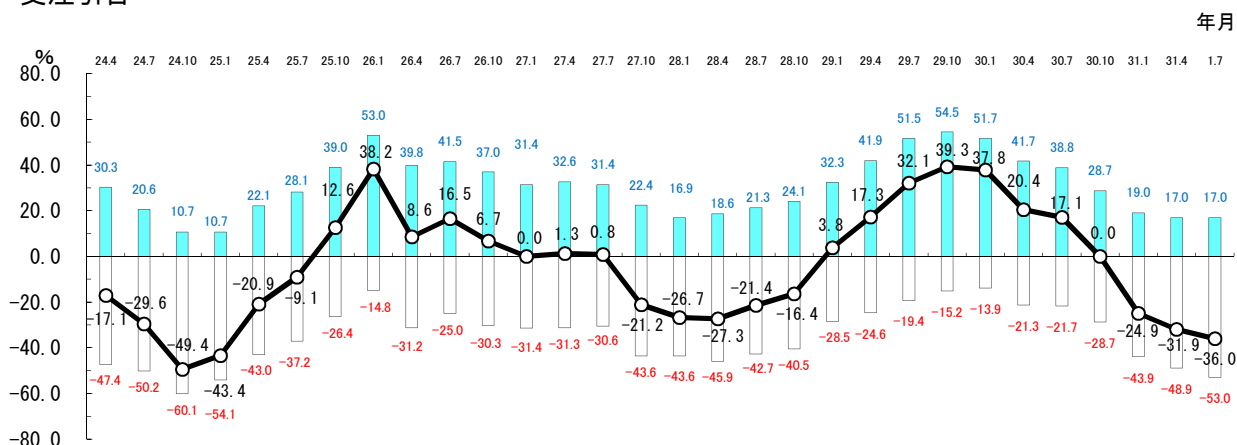
## 1 製造業

### (1) 前年同期に比べて

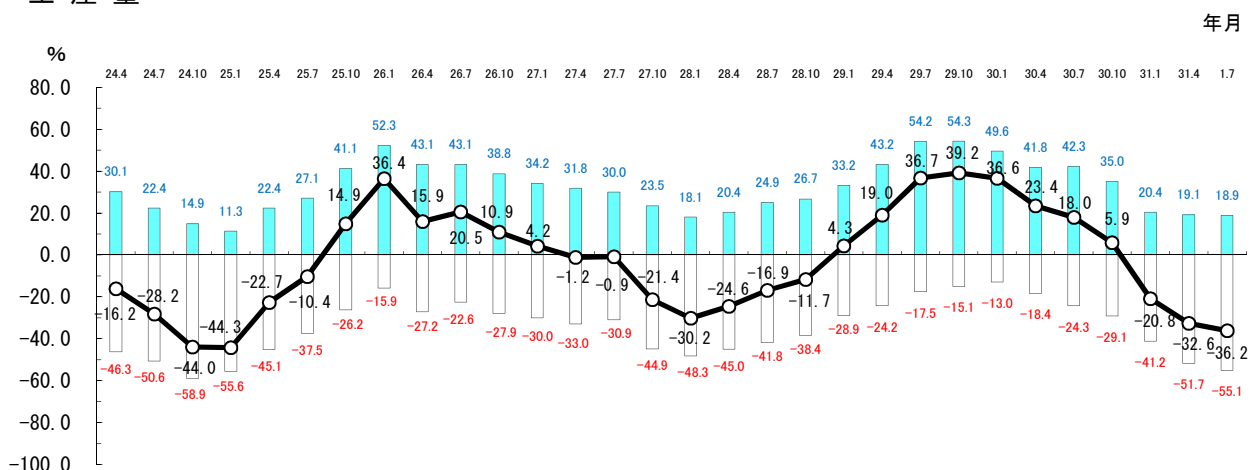
#### 業界の業況



#### 受注引合



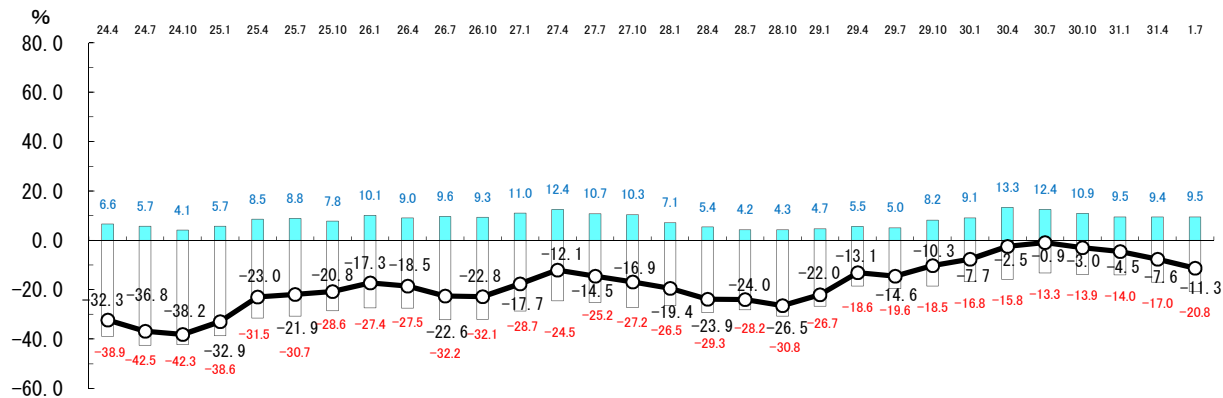
#### 生産量





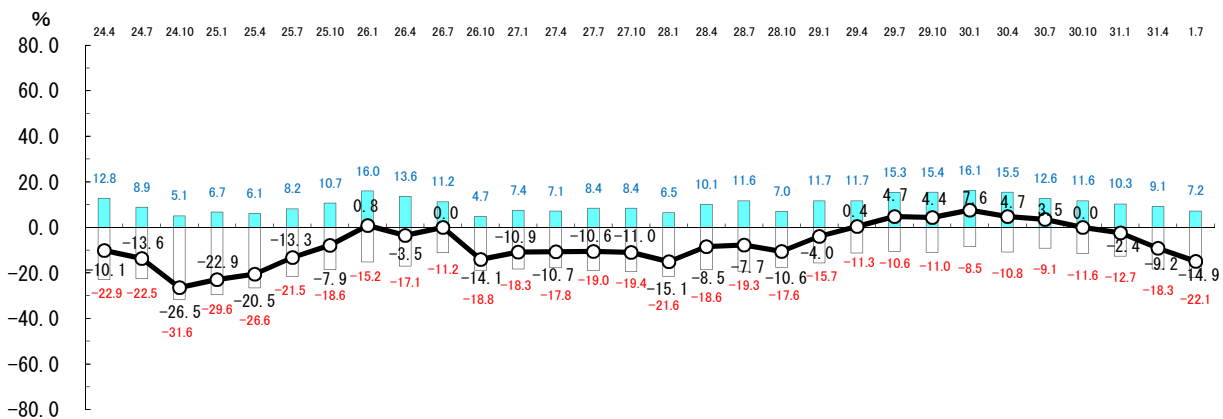
### 製品販売価格

年月



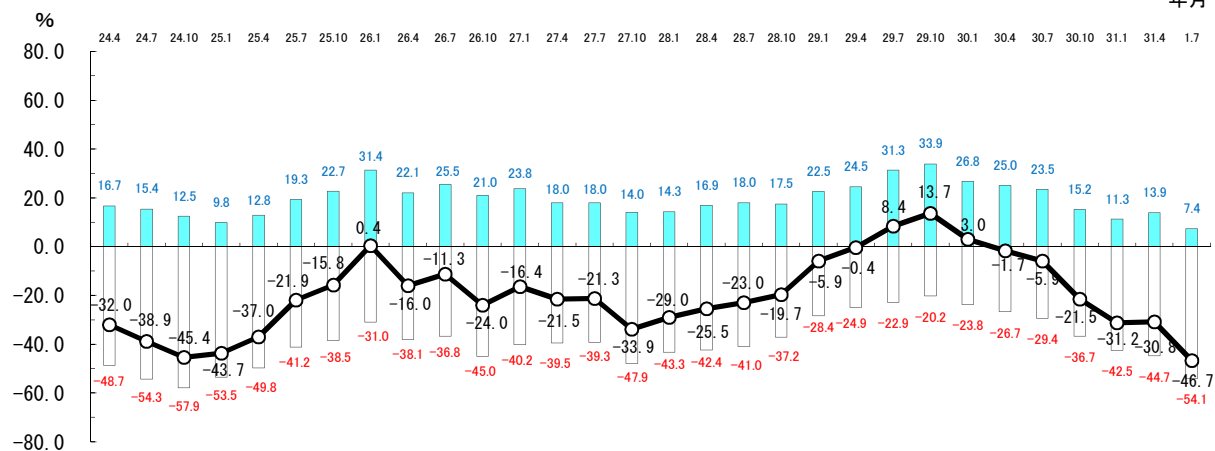
### 資金繰り

年月



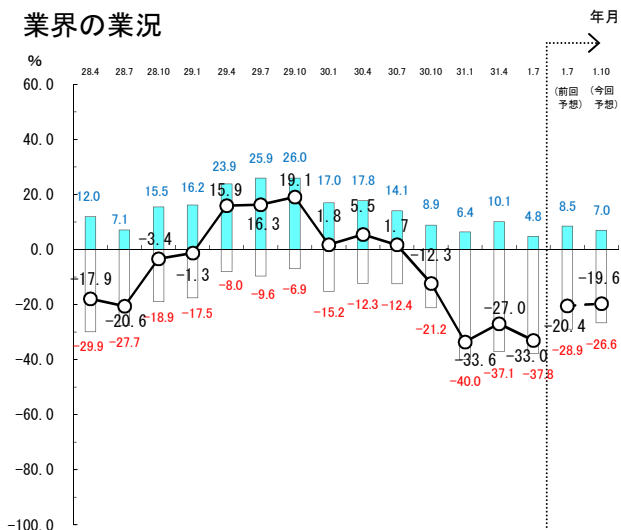
### 収益率

年月

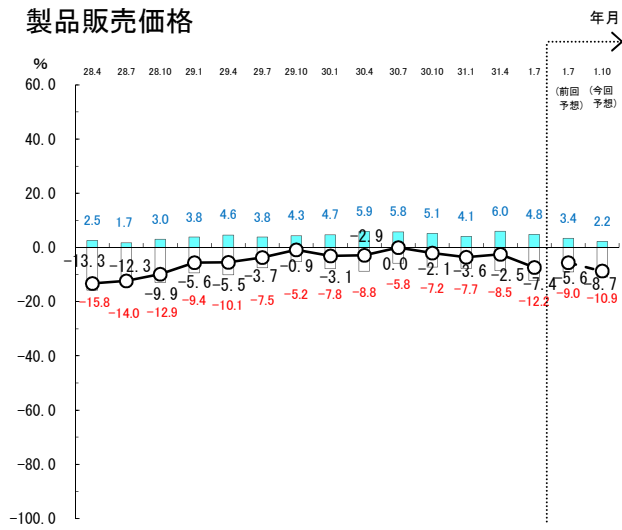


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

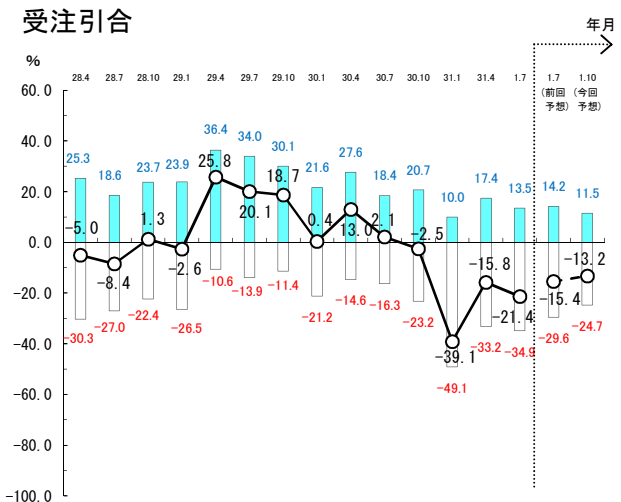
業界の業況



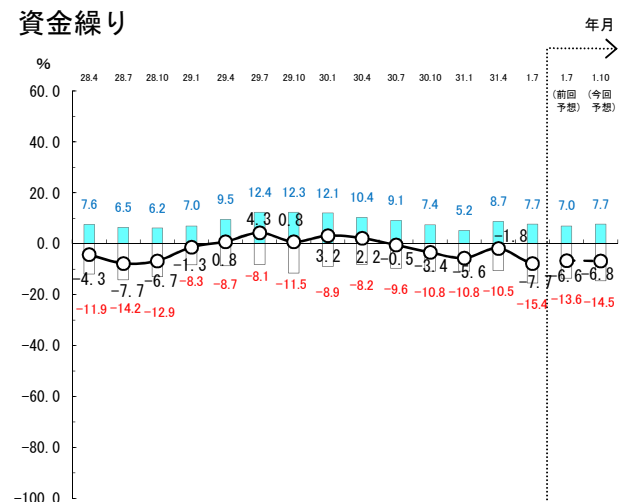
製品販売価格



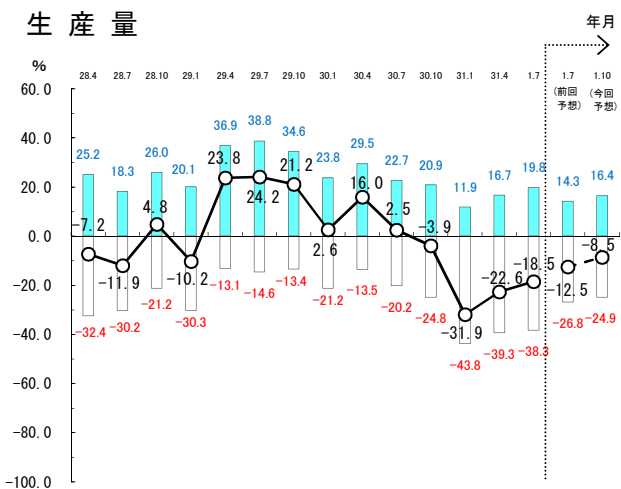
受注引合



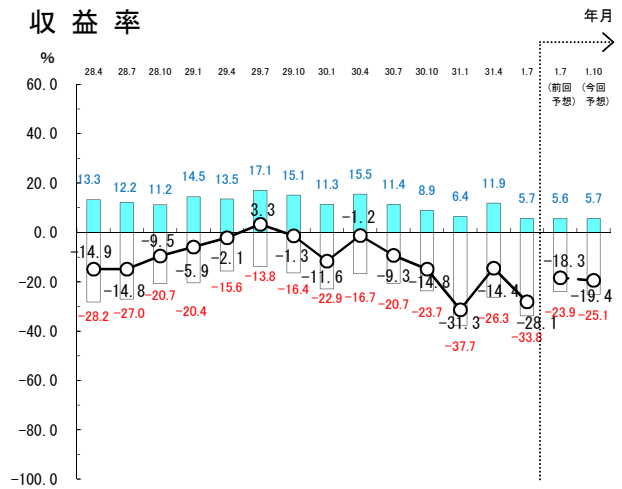
資金繰り



生産量



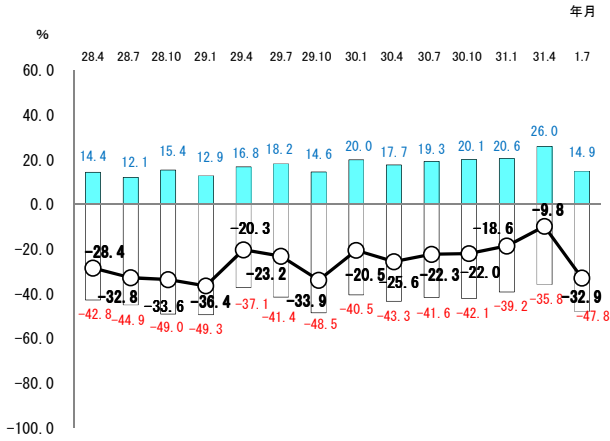
収益率



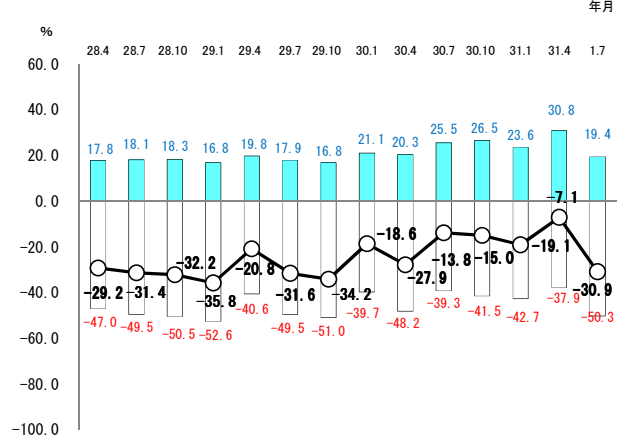
## 2 非製造業

### (1) 前年同期に比べて 非製造業全体

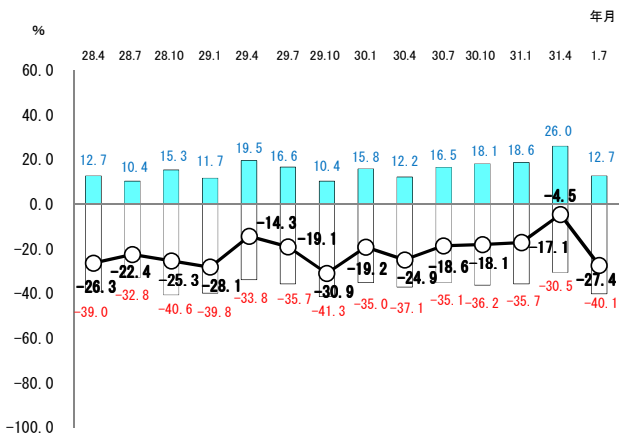
業況



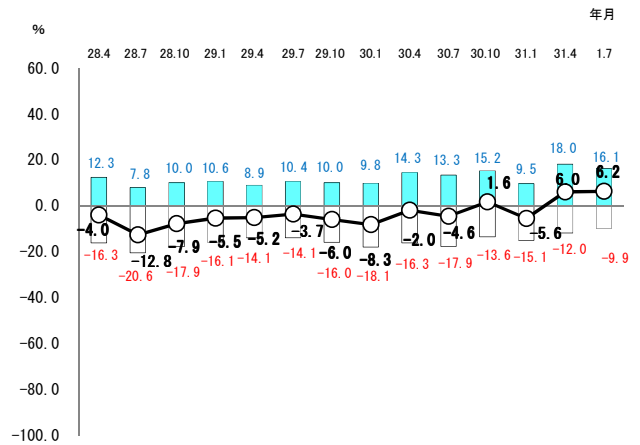
売上高



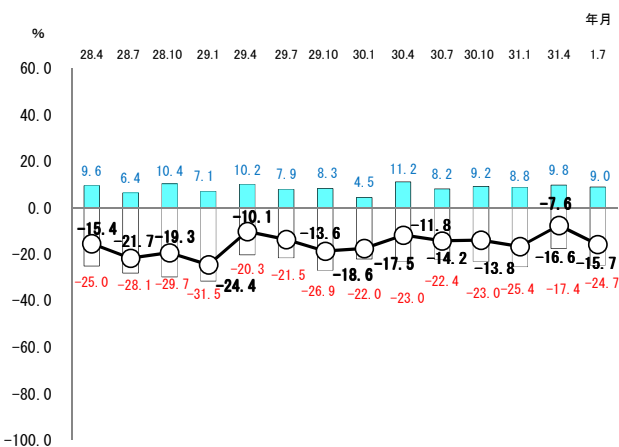
客数 (受注件数・取引先数)



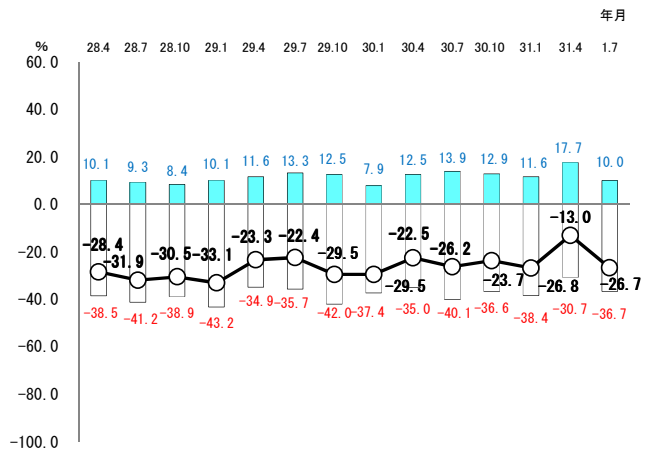
販売価格



資金繰り

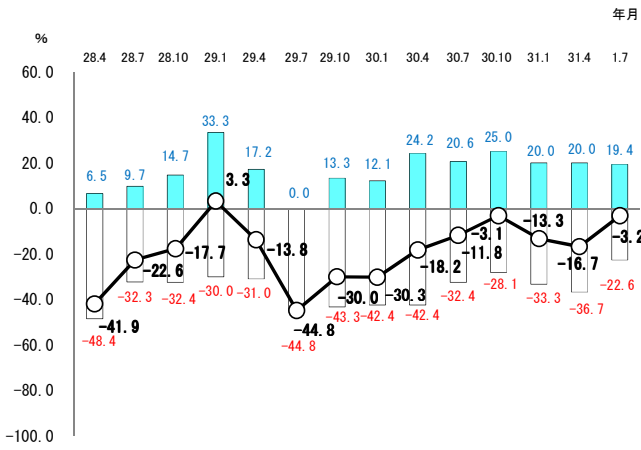


収益率

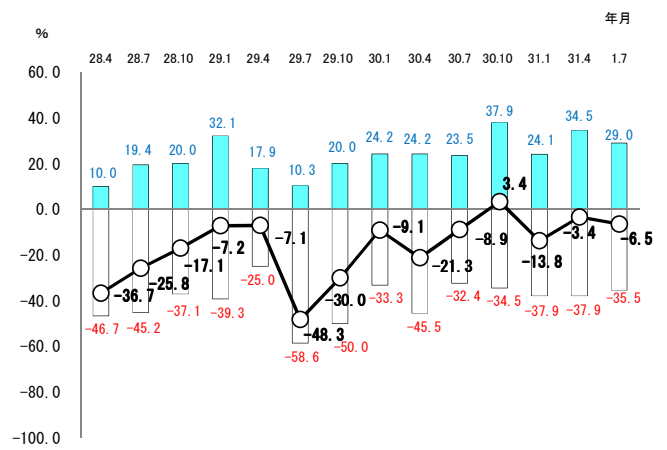


# ア 建設業

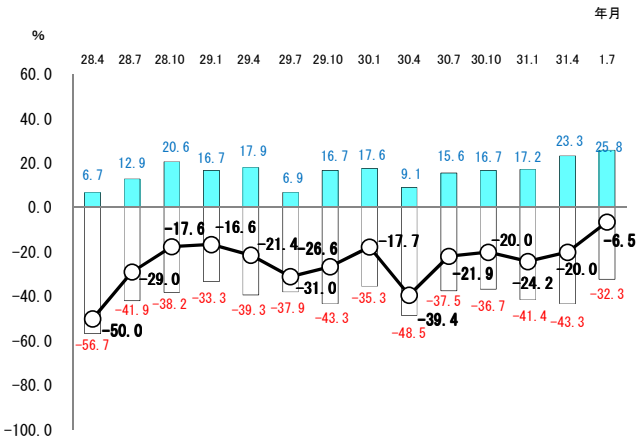
## 業況



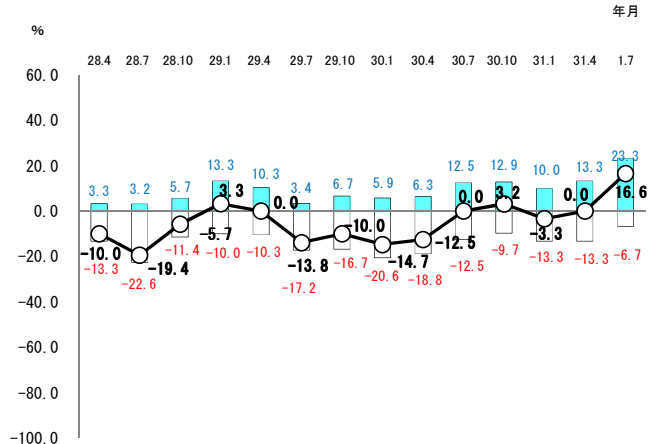
## 売上高



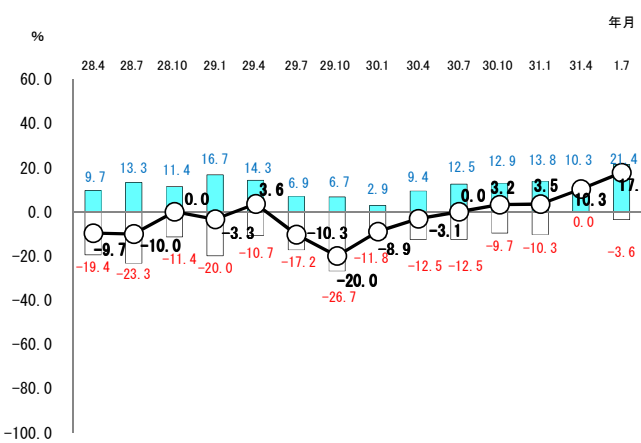
## 客数 (受注件数)



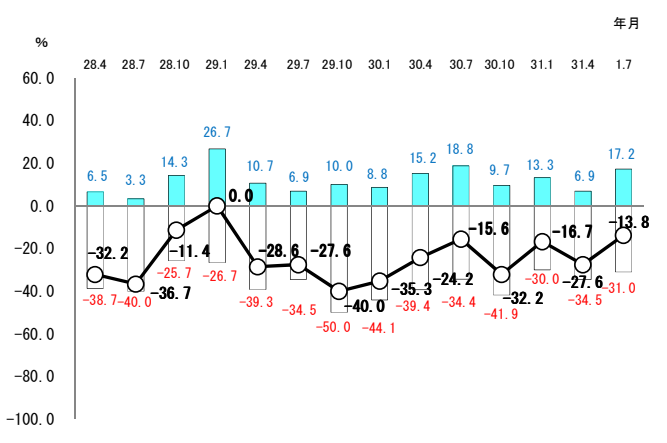
## 販売価格



## 資金繰り

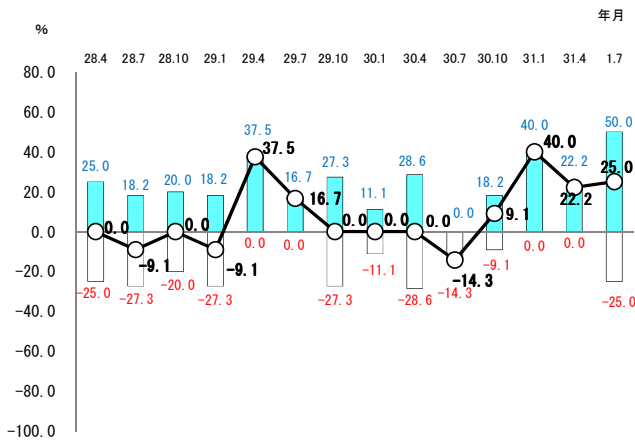


## 収益率

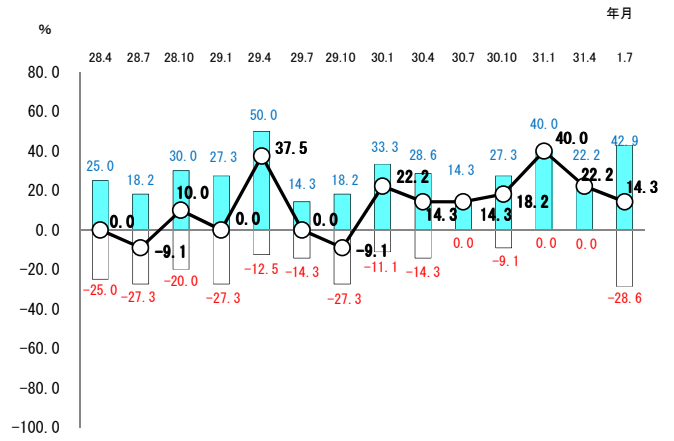


# イ 情報サービス業

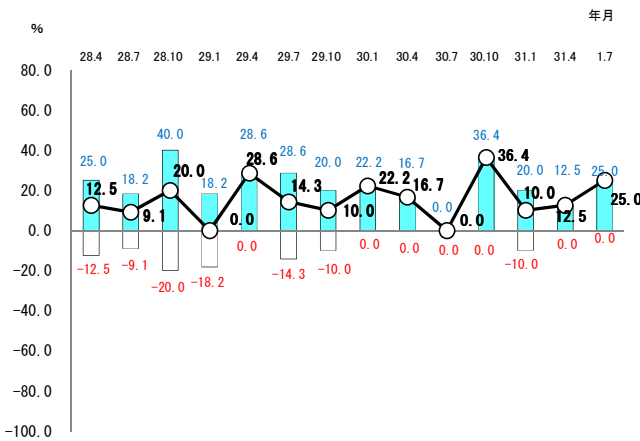
## 業況



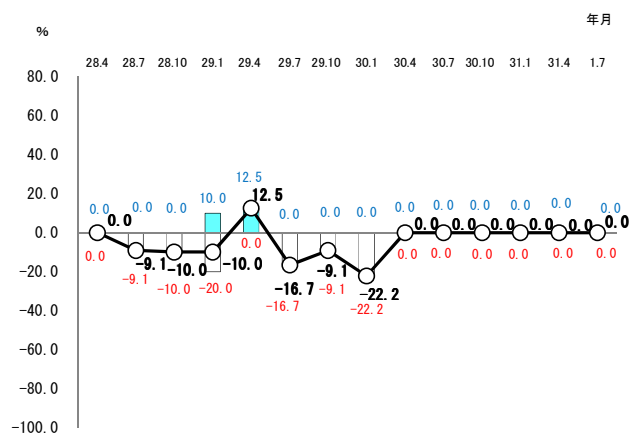
## 売上高



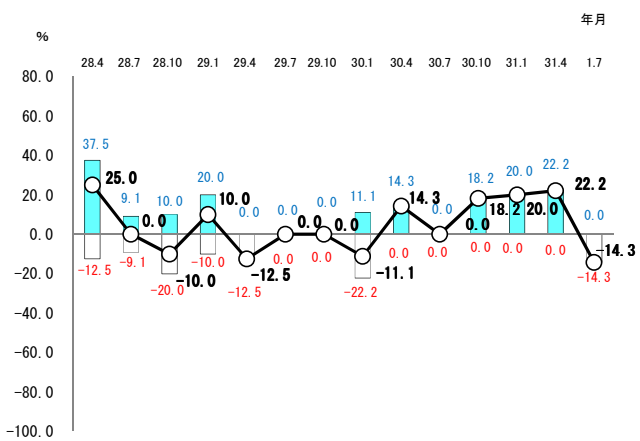
## 客数 (受注件数)



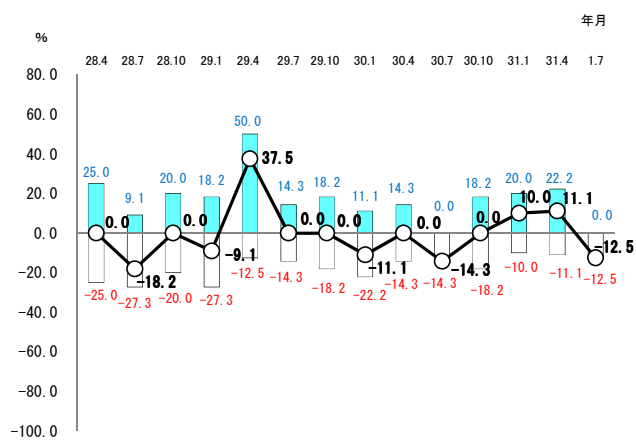
## 販売価格



## 資金繰り

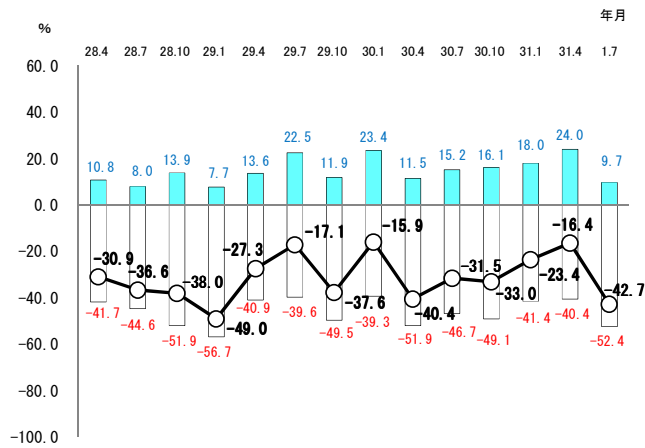


## 収益率

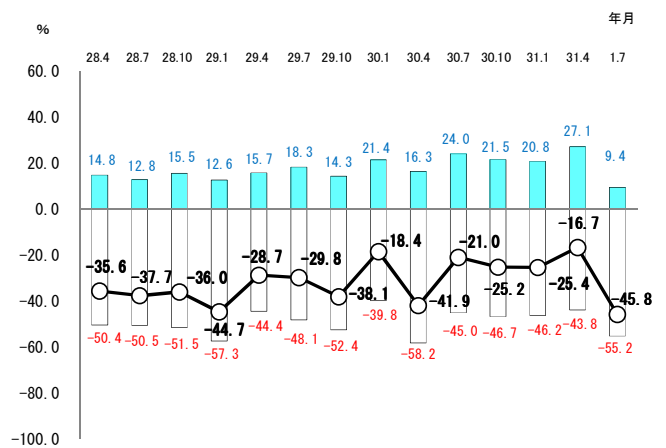


# ウ 小売業

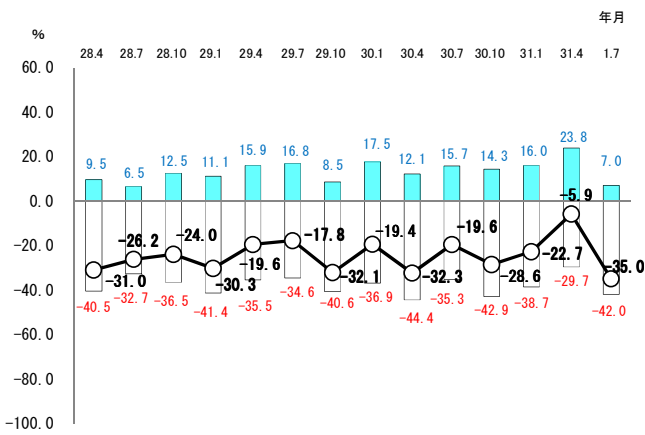
## 業況



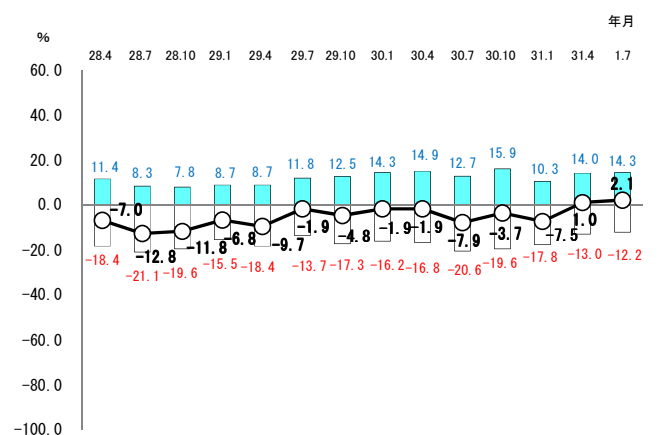
## 売上高



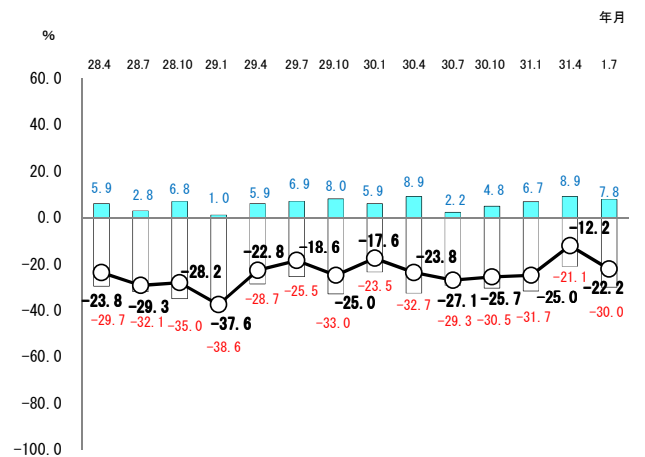
## 客数



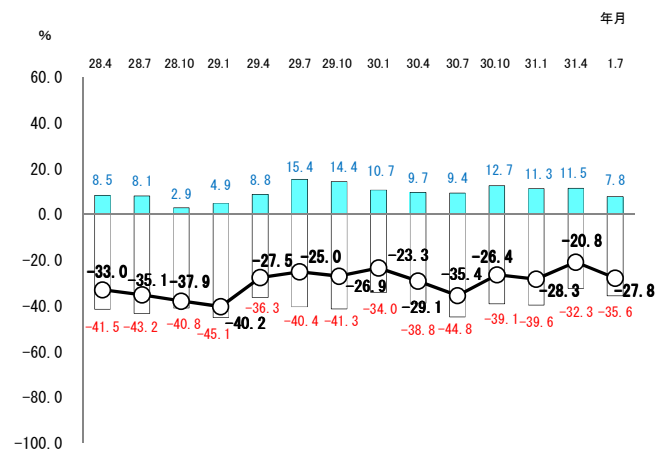
## 販売価格



## 資金繰り

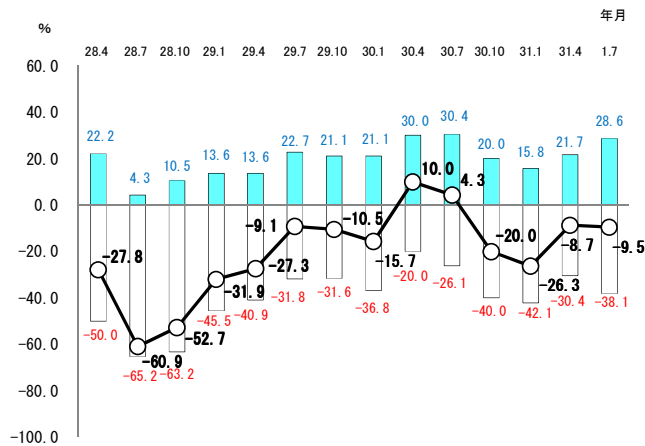


## 収益率

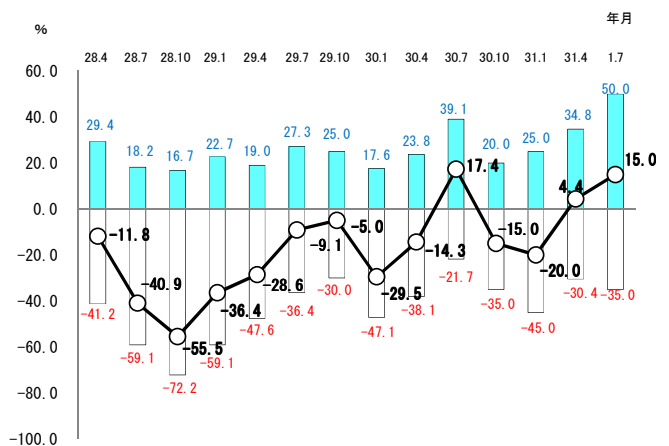


# 工 卸売業

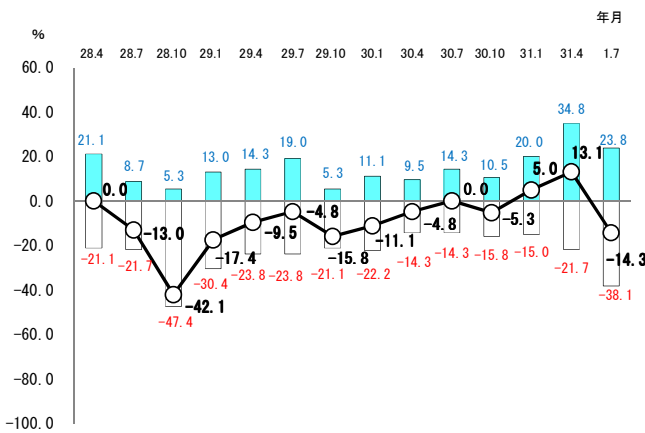
## 業況



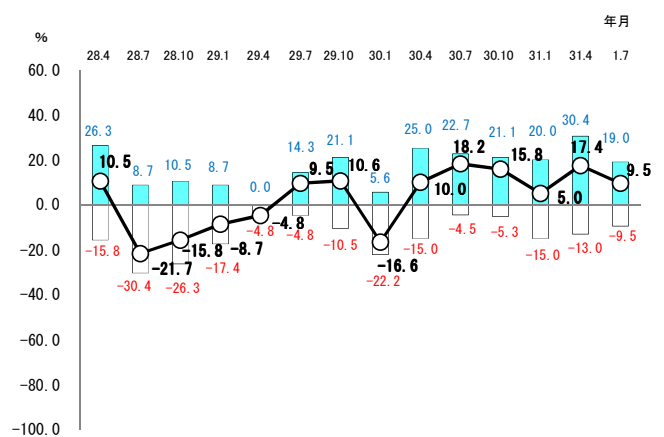
## 売上高



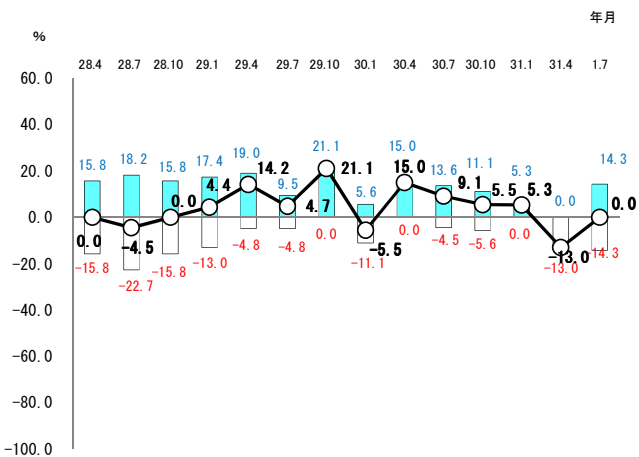
## 客数 (取引先数)



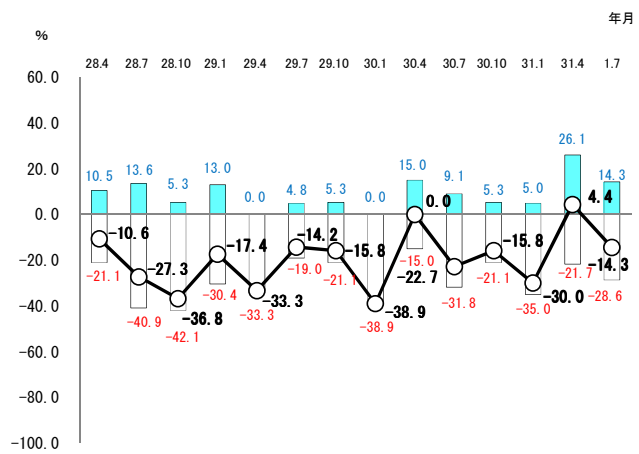
## 販売価格



## 資金繰り

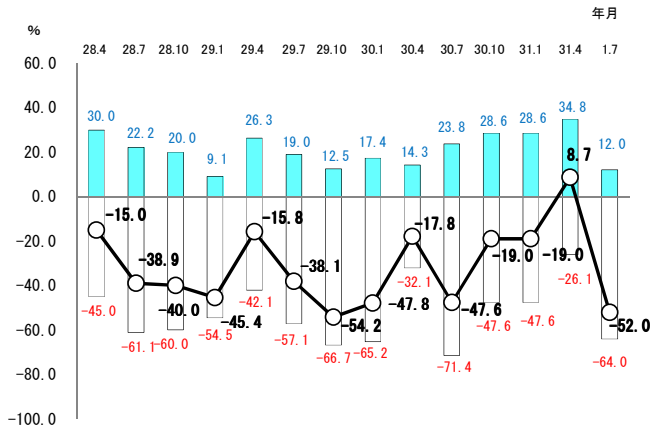


## 収益率

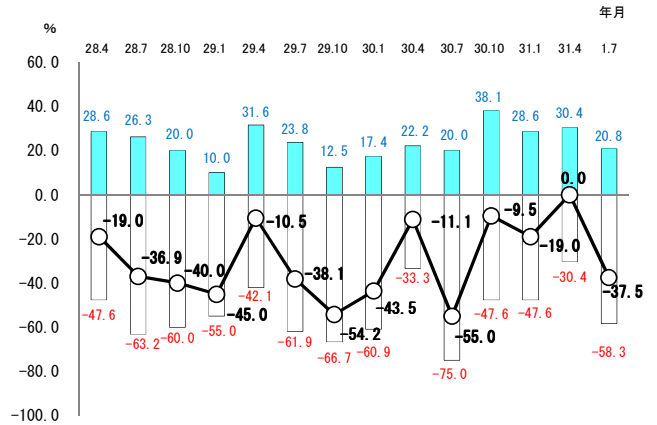


# 才 飲食業

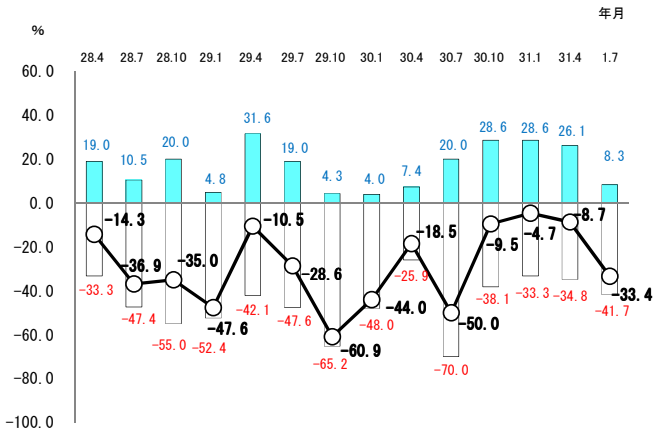
## 業況



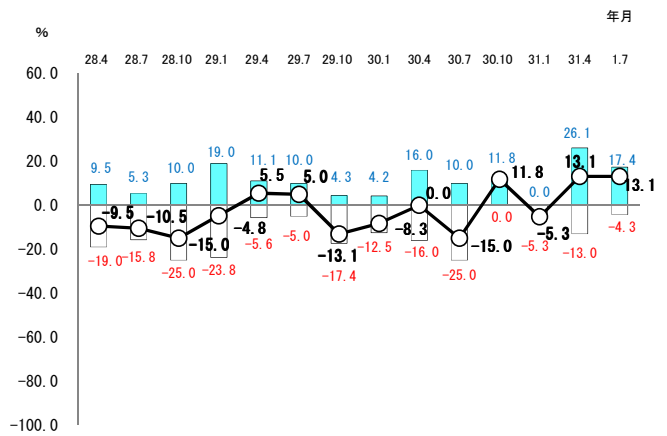
## 売上高



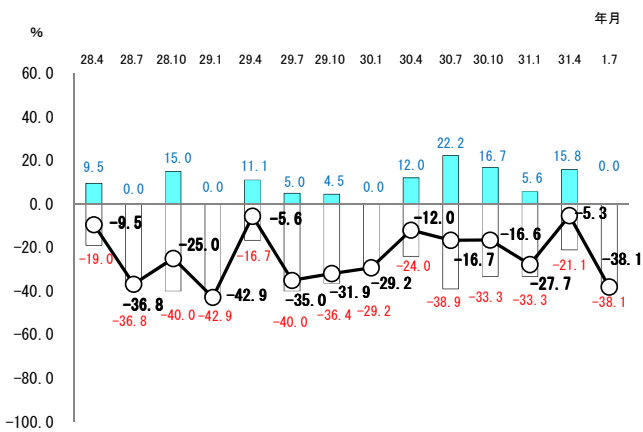
## 客数



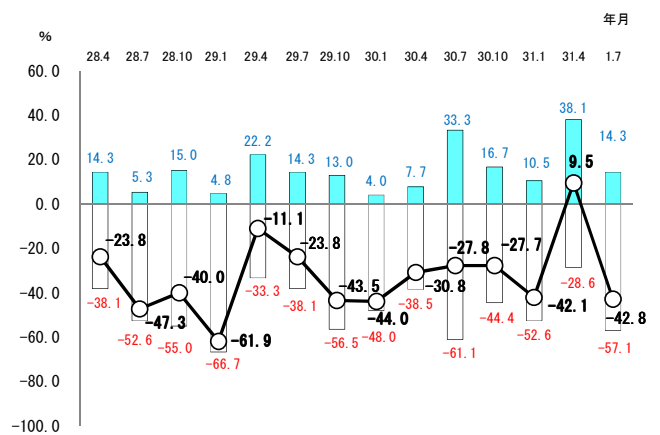
## 販売価格



## 資金繰り



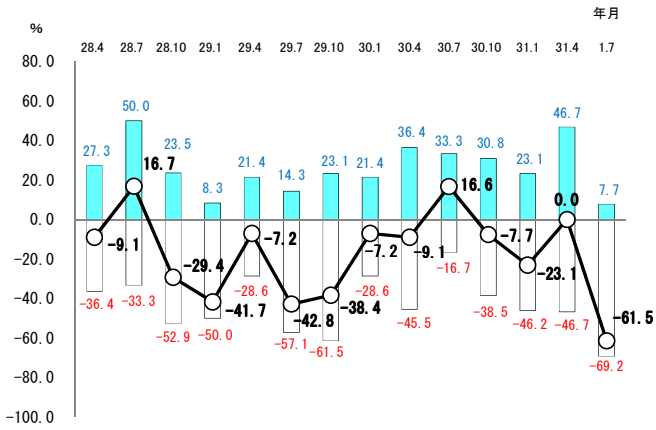
## 収益率



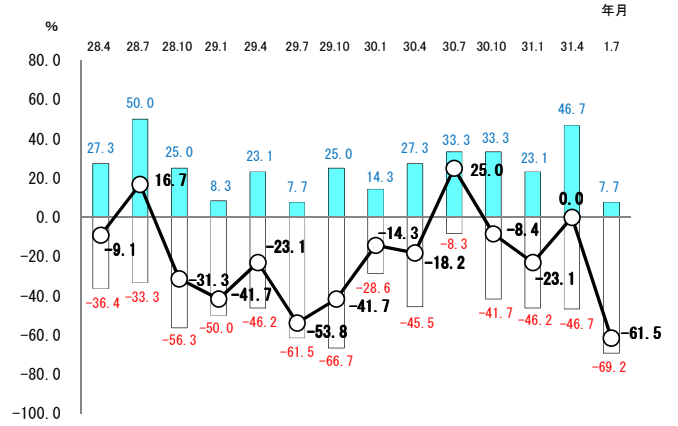


# 力 宿泊業

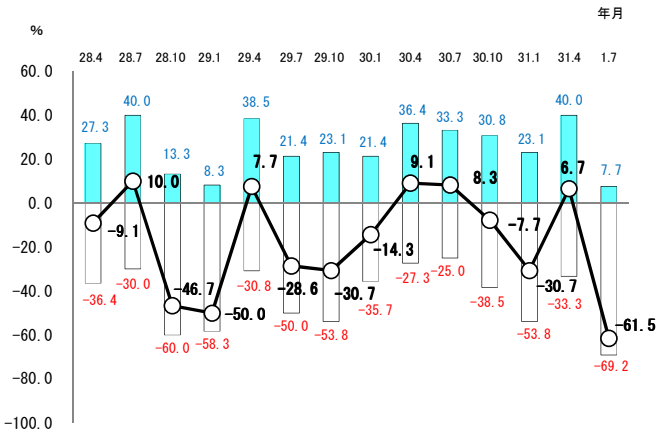
## 業況



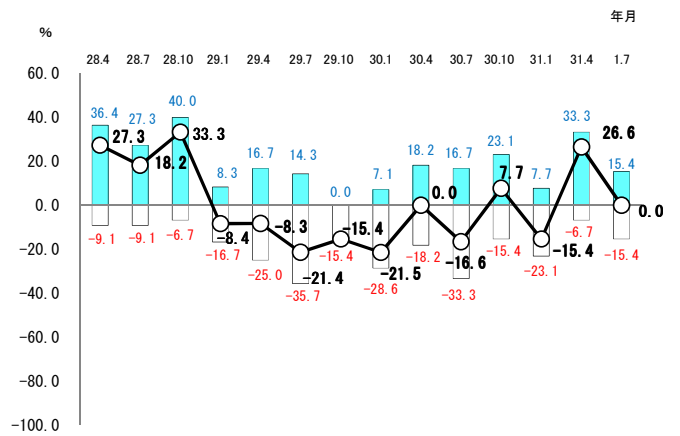
## 売上高



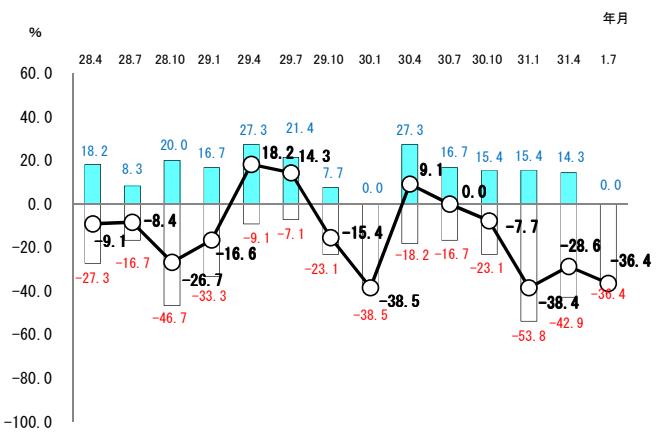
## 客数



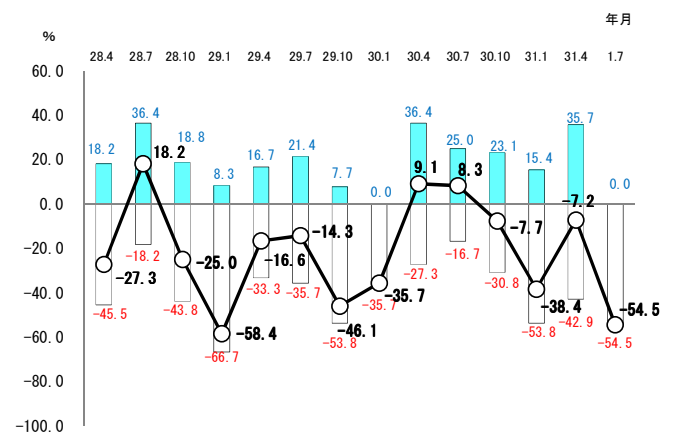
## 販売価格



## 資金繰り

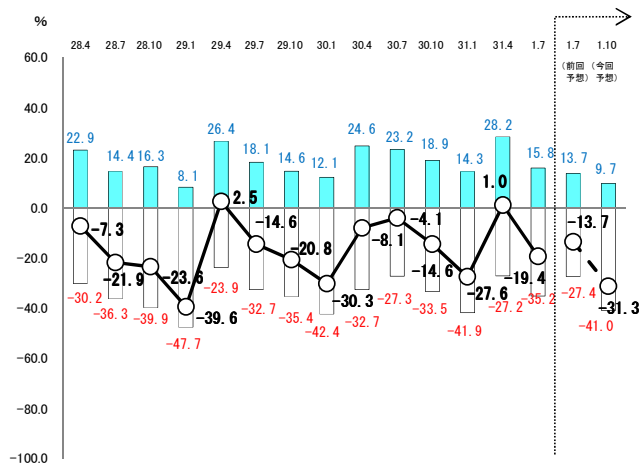


## 収益率

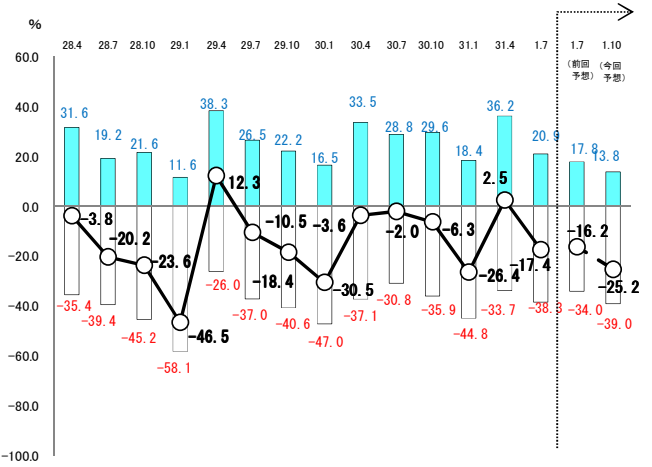


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想  
非製造業全体

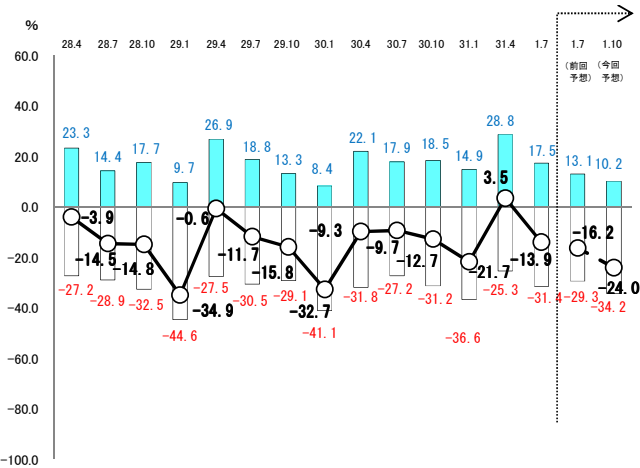
業況



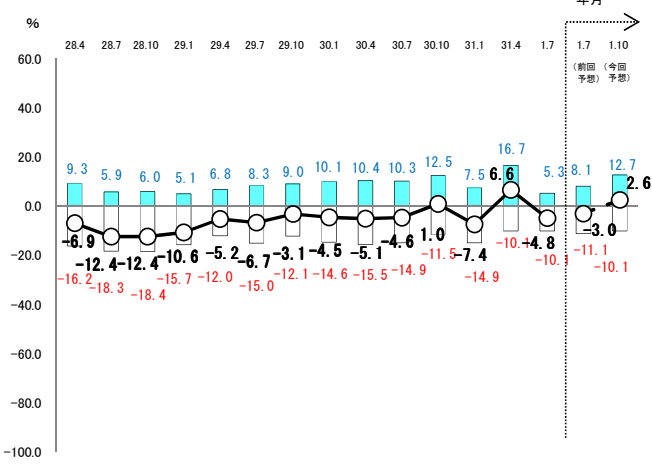
売上高



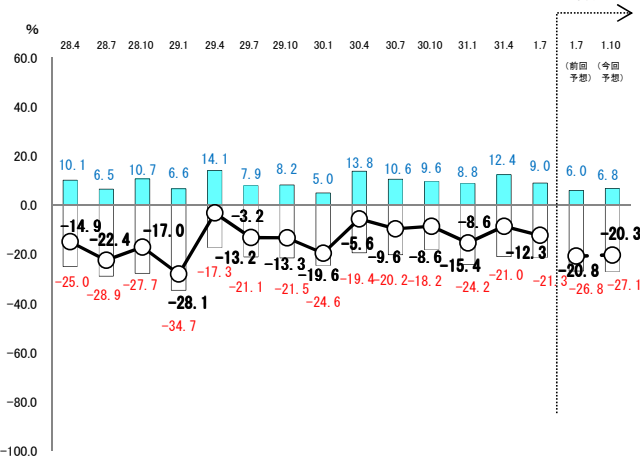
客数 (受注件数・取引先数)



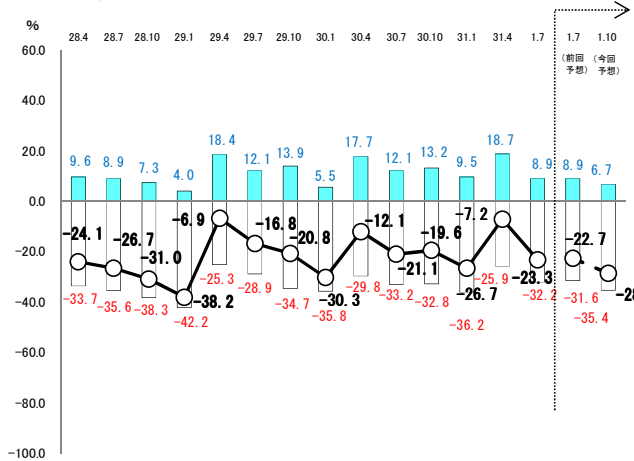
販売価格



資金繰り

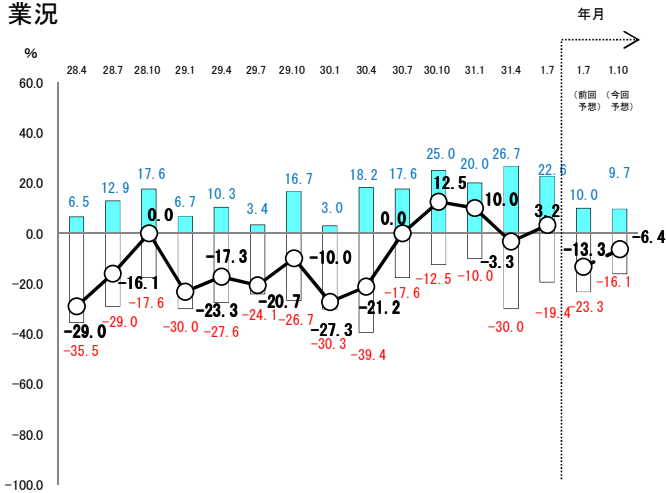


収益率

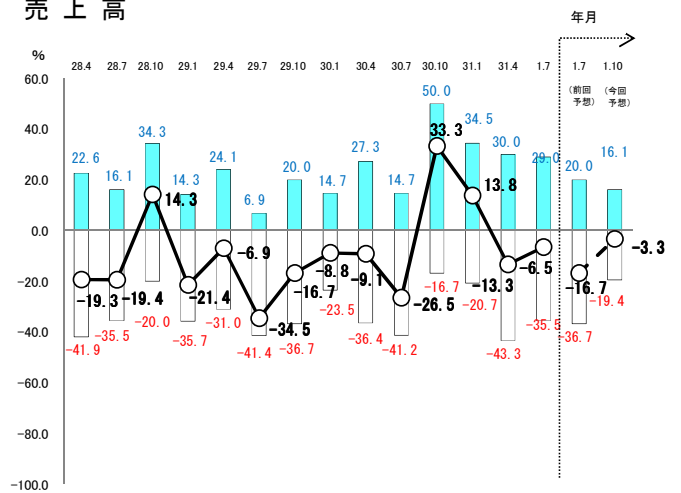


# ア 建設業

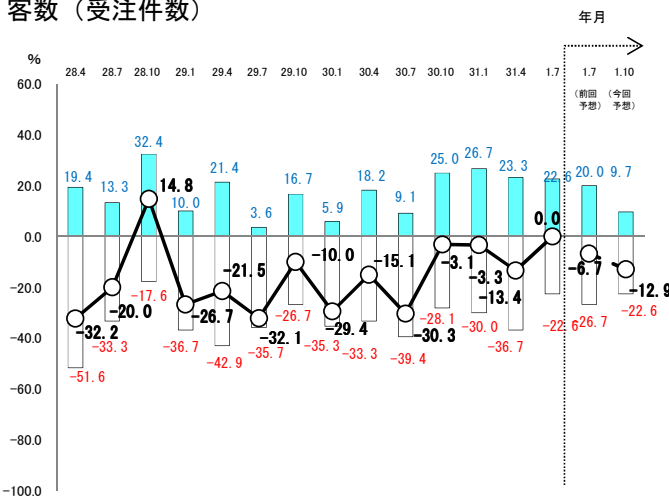
## 業況



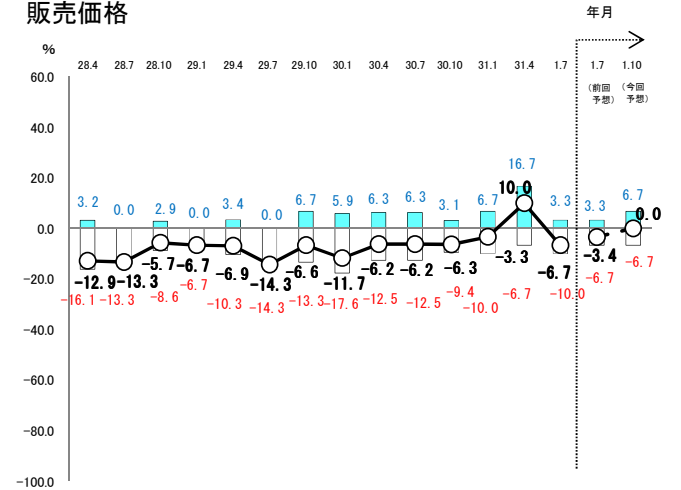
## 売上高



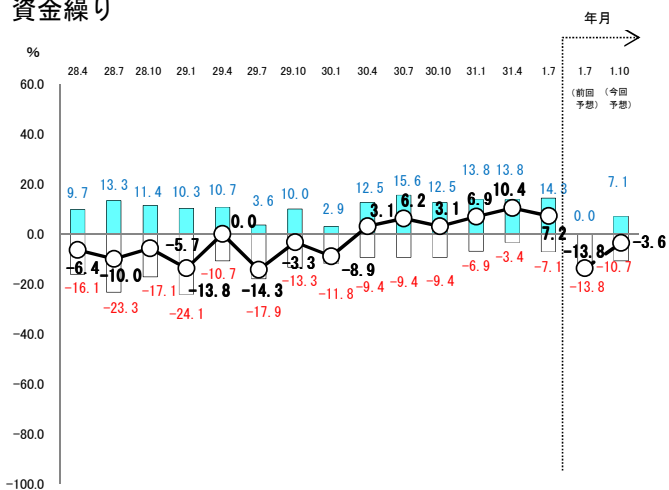
## 客数 (受案件数)



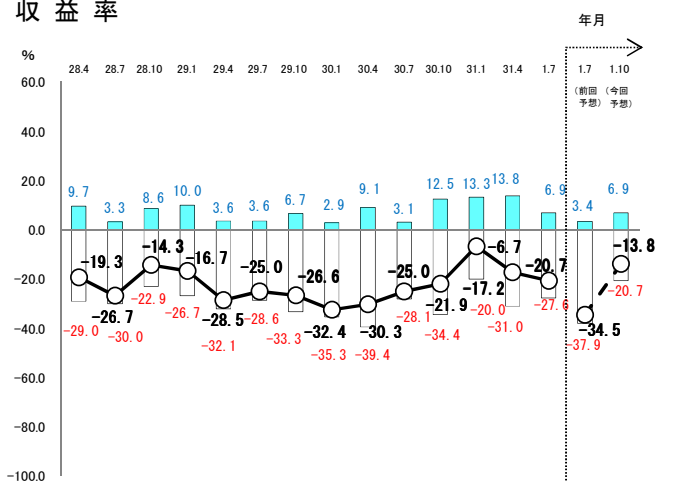
## 販売価格



## 資金繰り

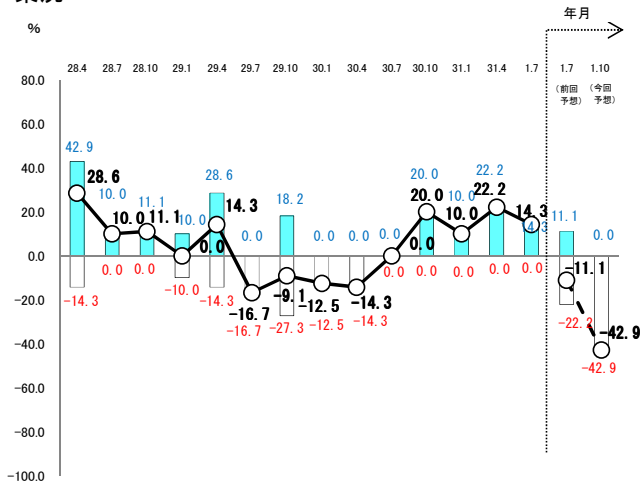


## 収益率

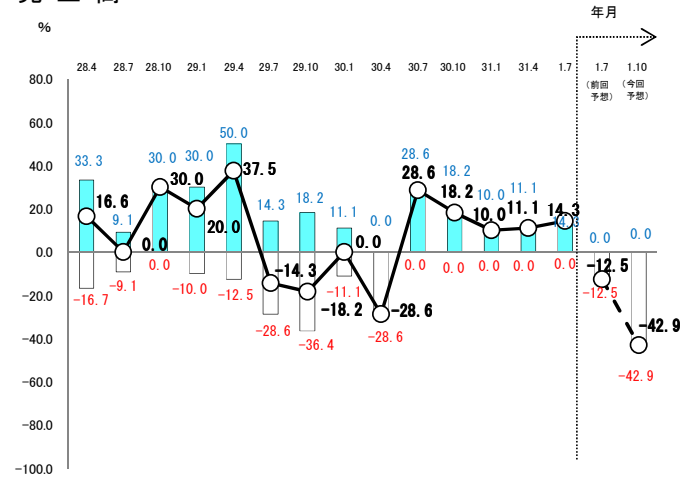


# イ 情報サービス業

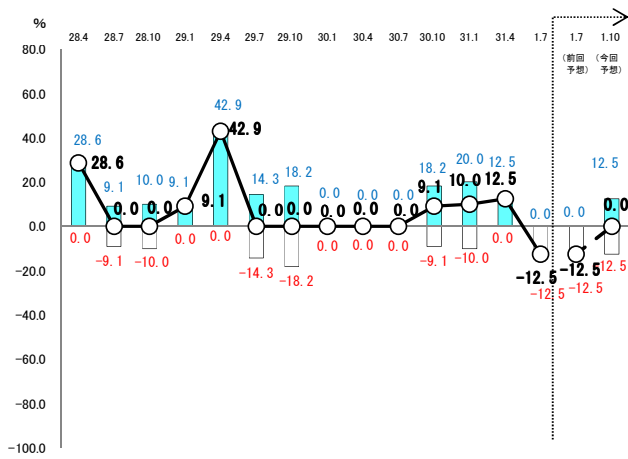
## 業況



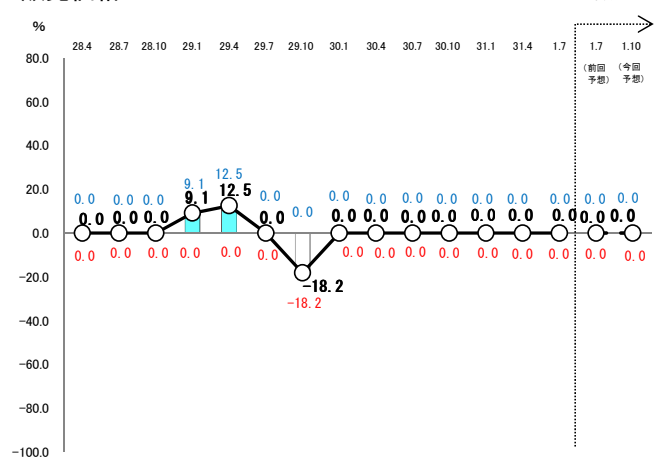
## 売上高



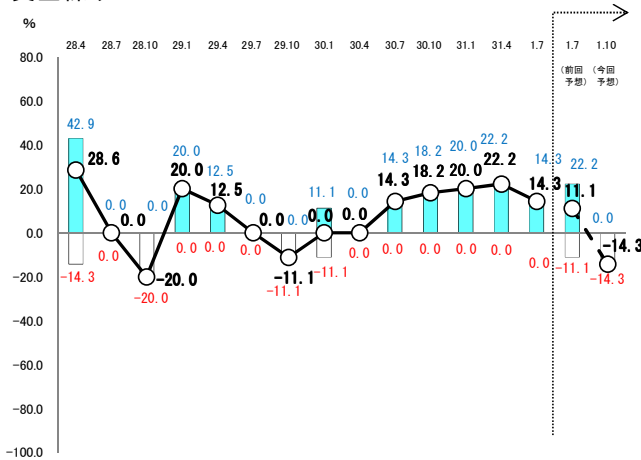
## 客数 (受案件数)



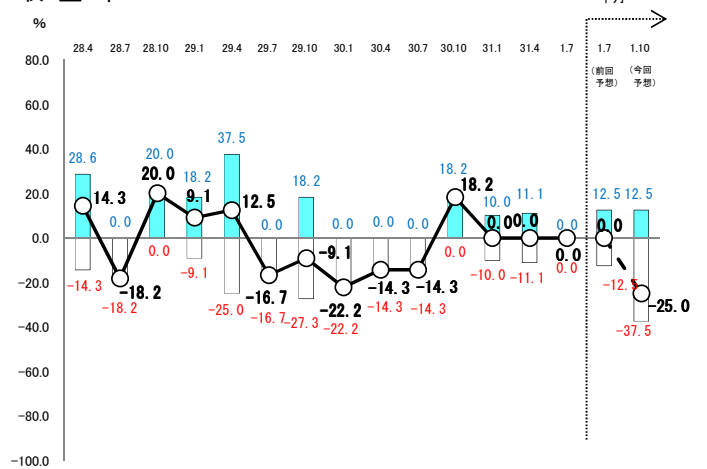
## 販売価格



## 資金繰り

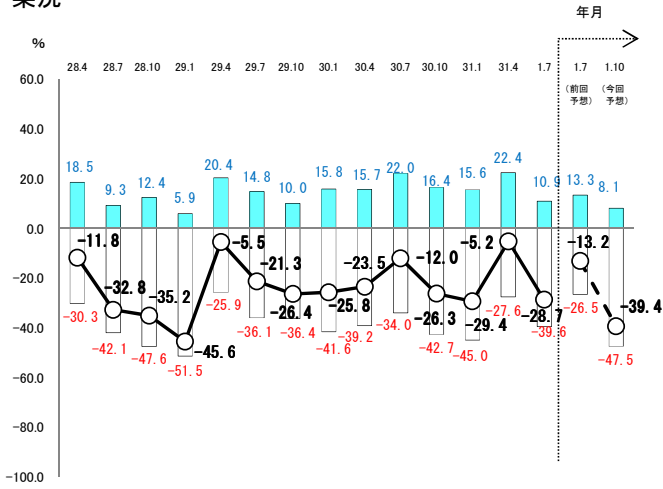


## 収益率

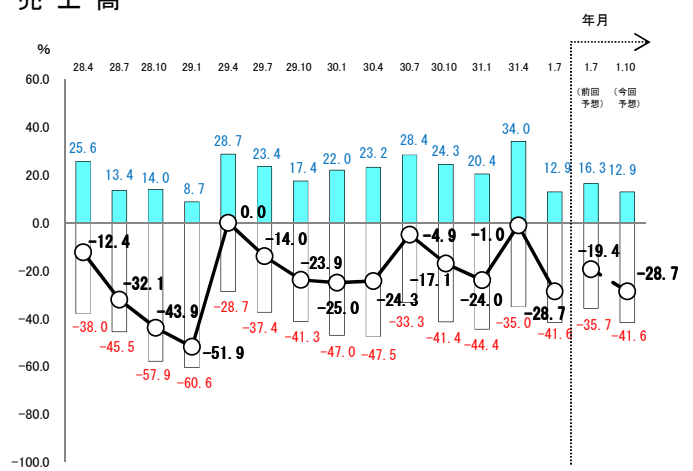


# ウ 小売業

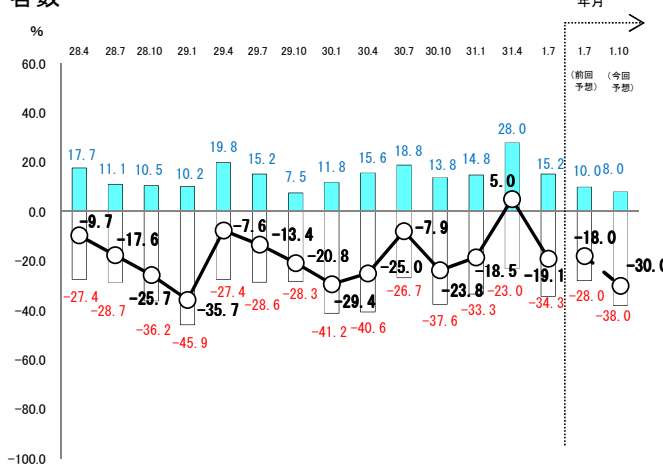
## 業況



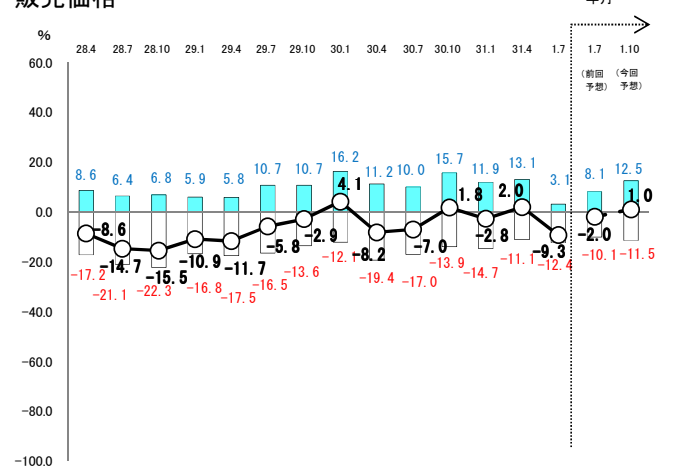
## 売上高



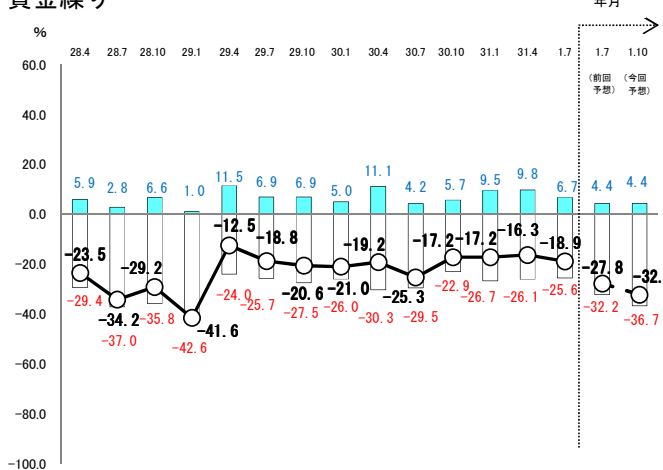
## 客数



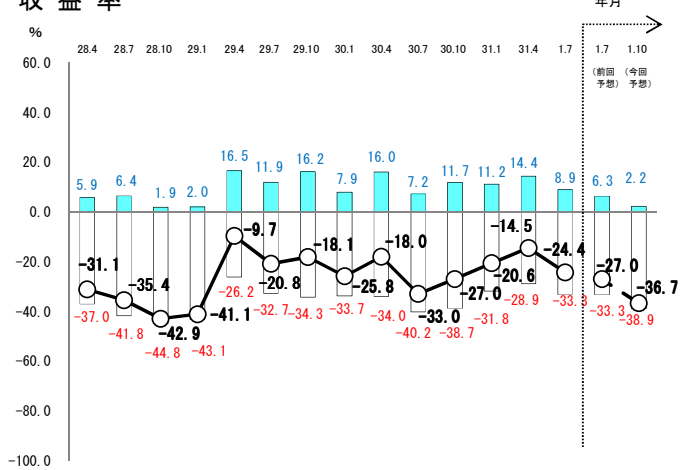
## 販売価格



## 資金繰り

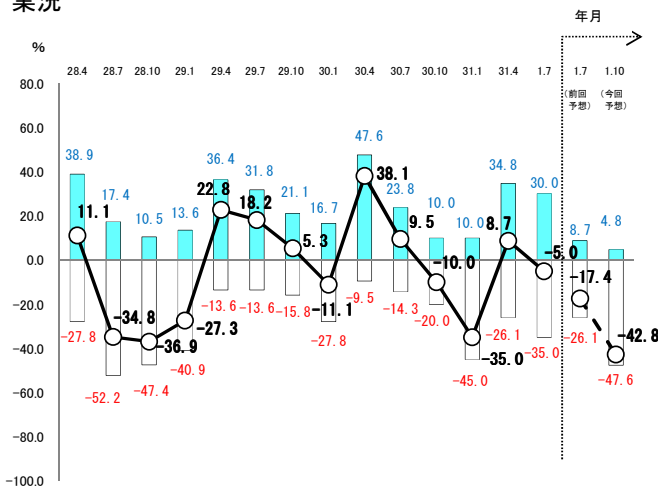


## 収益率

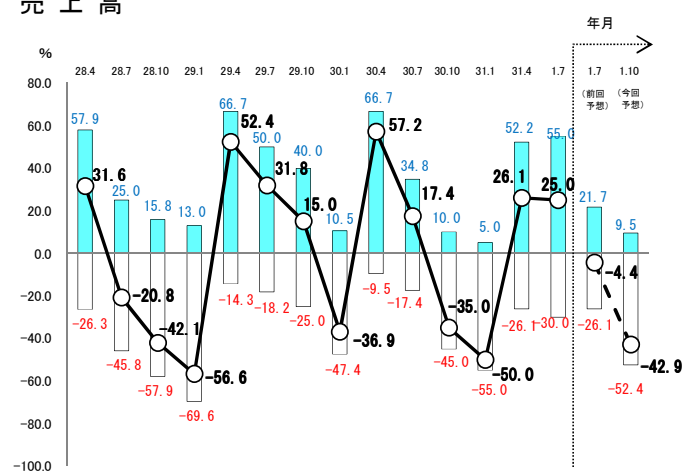


# 工 卸売業

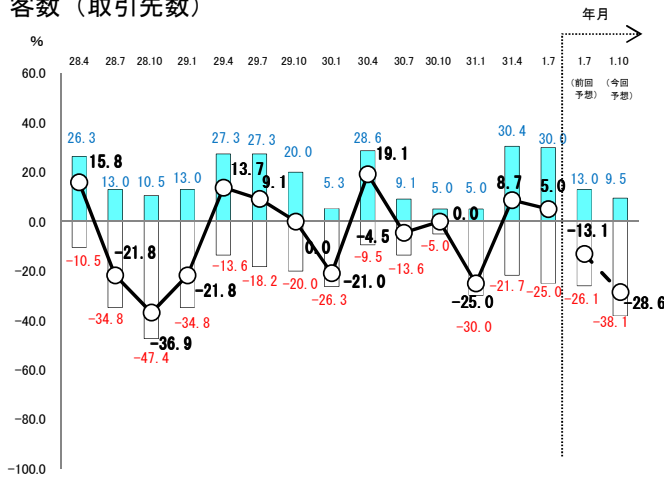
## 業況



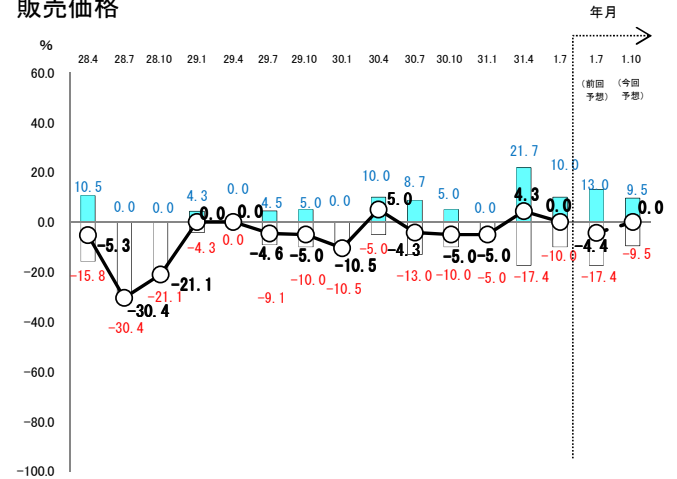
## 売上高



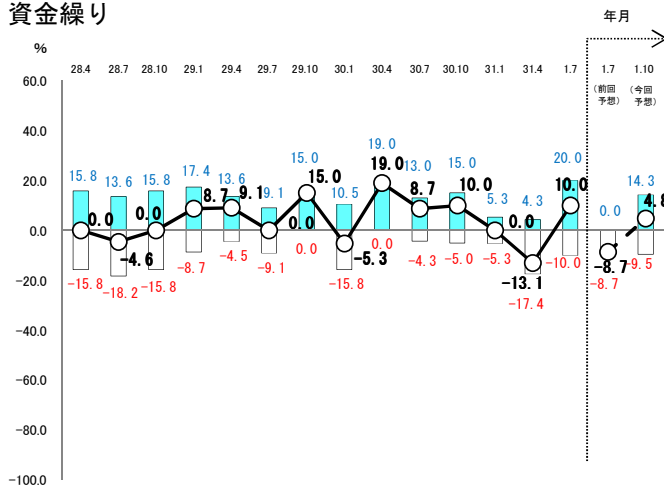
## 客数 (取引先数)



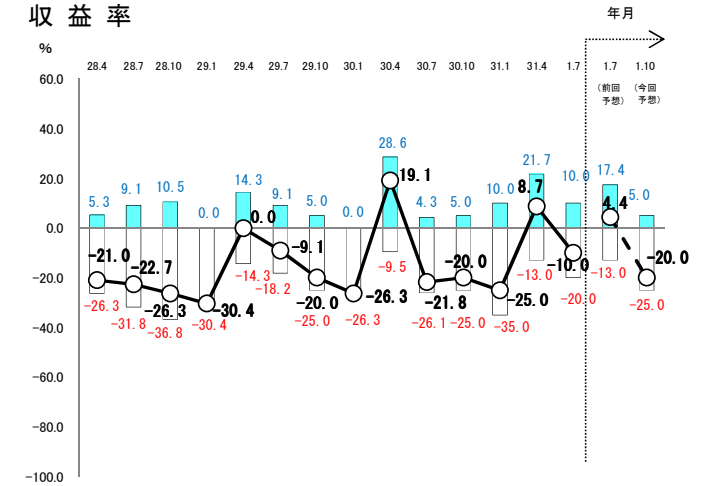
## 販売価格



## 資金繰り

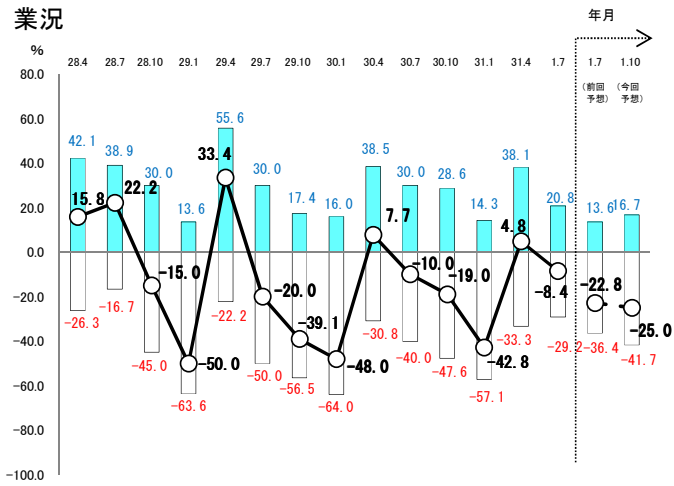


## 収益率

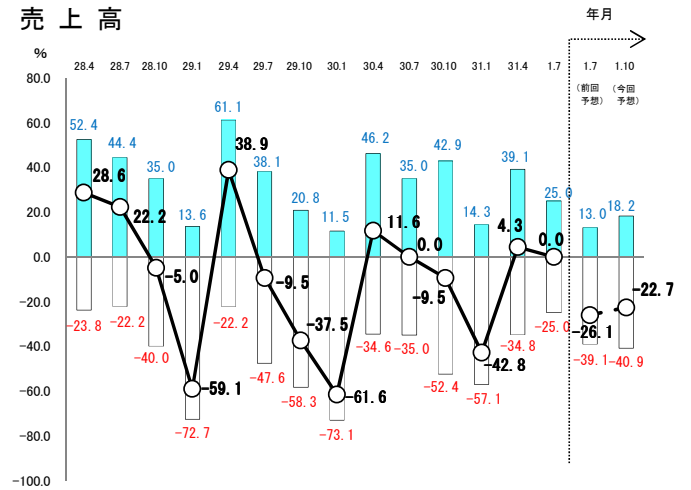


# 才 飲食業

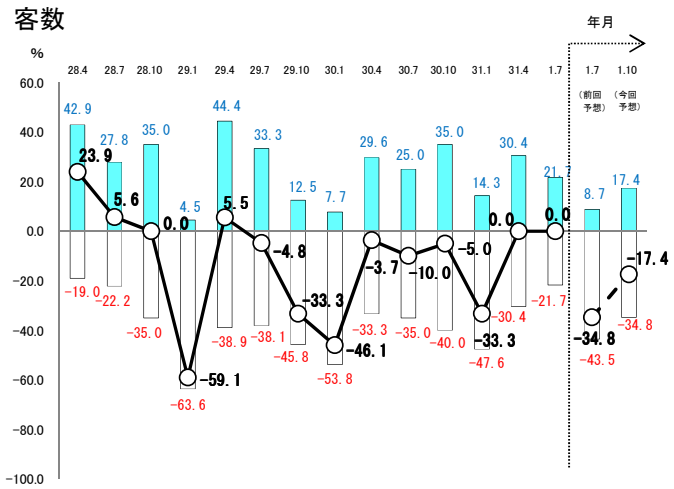
## 業況



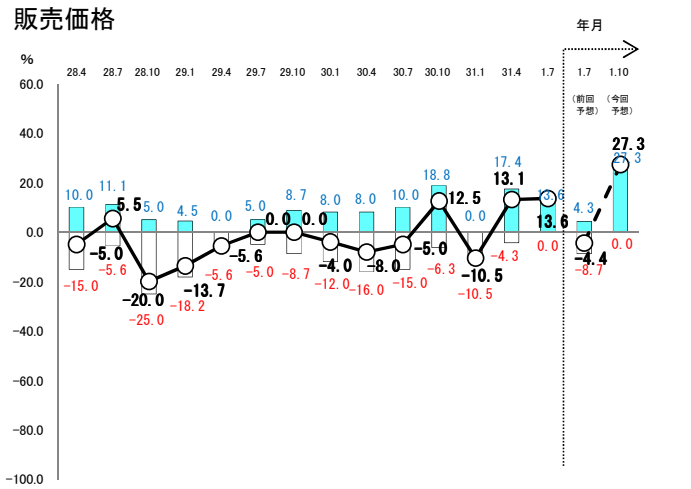
## 売上高



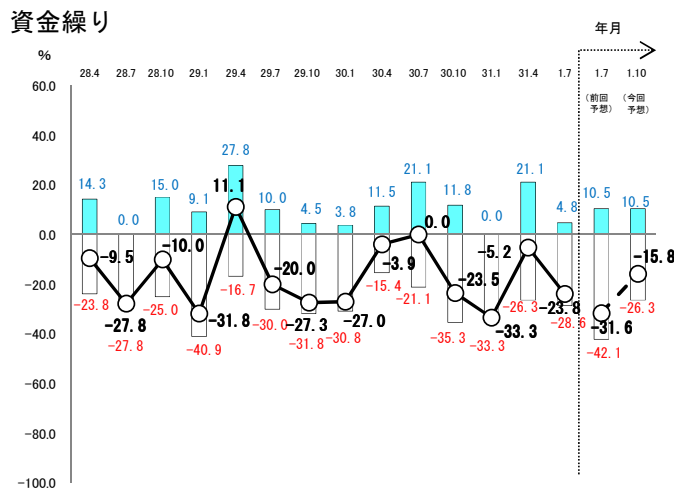
## 容数



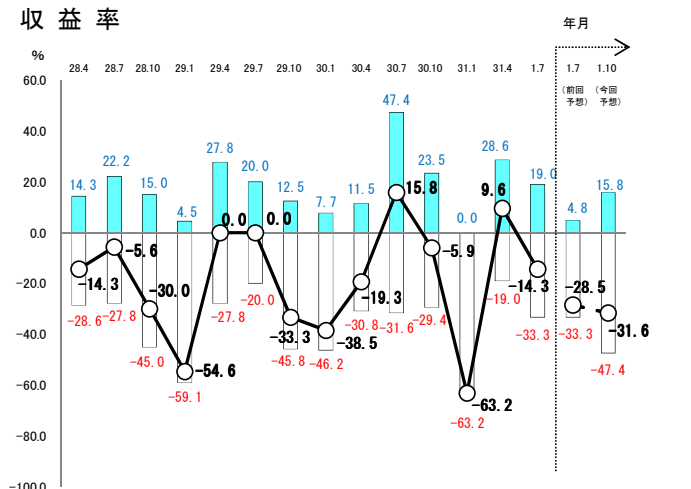
## 販売価格



## 資金繰り

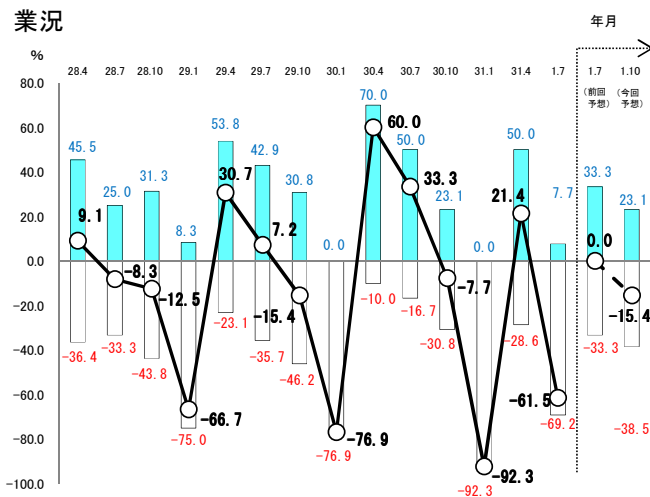


## 収益率

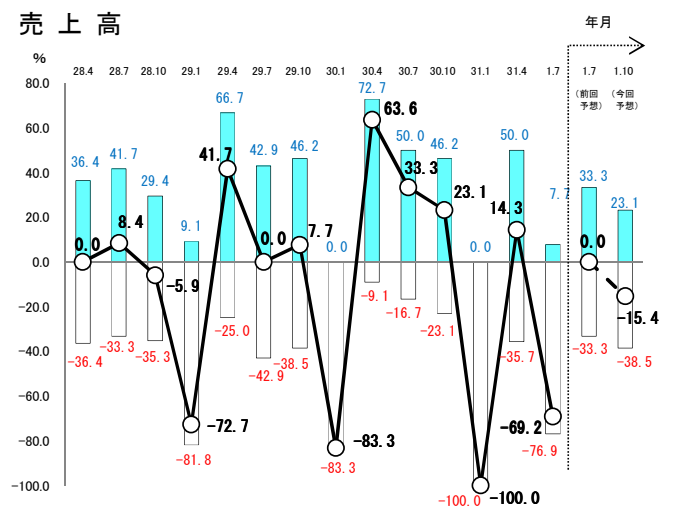


# 力 宿泊業

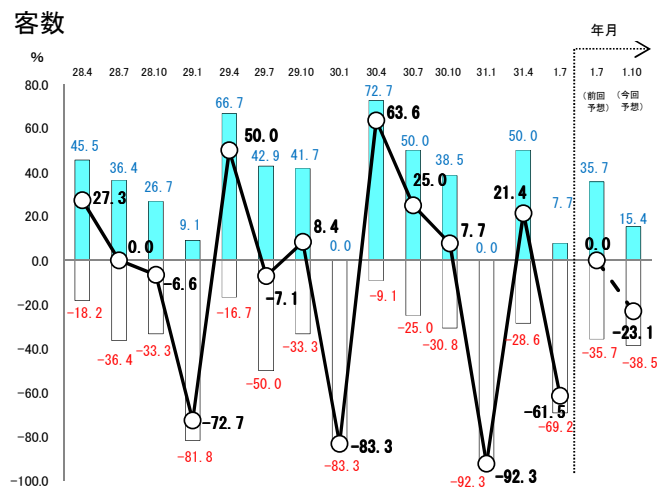
## 業況



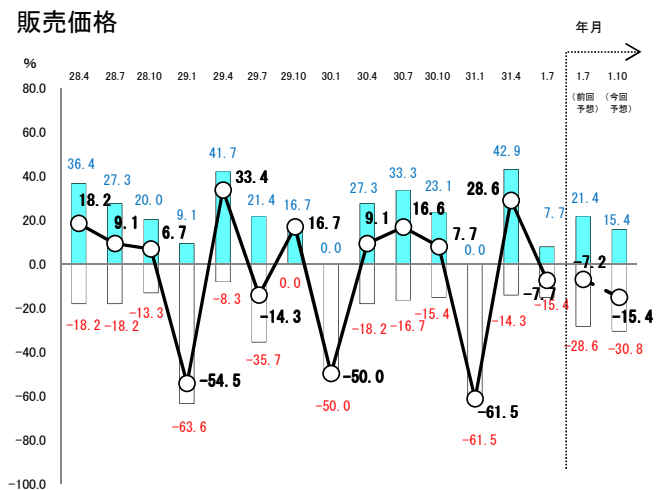
## 売上高



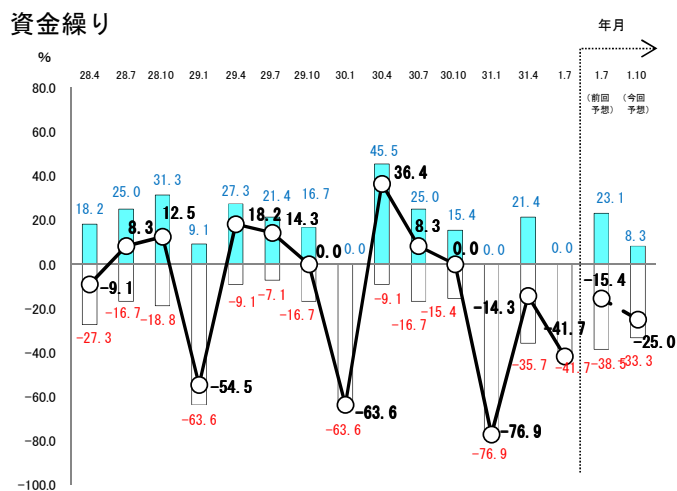
## 容数



## 販売価格



## 資金繰り



## 収益率

